

Sustainability Pre Round Table

企業の脱炭素とエネルギー確保：市場型アプローチの可能性

ファンド型アプローチの日本企業への応用と次のアクション



齋藤 慶子

Akari Capital 代表取締役社長

日本の再生可能エネルギーの進まない現状



後藤 敏彦

サステナビリティ日本フォーラム
顧問

日本では再生可能エネルギー比率が約25%まで上昇した一方、G7諸国の中でも化石燃料、とりわけ石炭への依存度が高く、電力部門の脱炭素化は依然として課題です。エネルギー安全保障の観点で原子力も重視される中、需要増への対応、タイムラインや供給の柔軟性を踏まえると、再生可能エネルギーの導入拡大は不可欠です。

本ラウンドテーブルでは、海外で進んでいる“市場型アプローチ”の先進事例をヒントに、日本で再生可能エネルギーをより速く、より大きく広げていくための方策や課題を、参加者の皆さまと一緒に議論します。

また、近年注目が高まっている、海外の大手企業による日本での再生可能エネルギー投資・調達の動きについても取り上げます。サステナビリティ日本フォーラムとして、カーボンニュートラル実現に向けた「何が壁になっているのか」「何が追い風になるのか」を整理し、理解を深める場としたいと考えています。

加えて、海外資本が日本市場をどう見ているのか、どのような調達戦略や投資意欲を持っているのかを直接知ることができる貴重な機会でもあり、参加者の皆さまにとっても実務に活かせる学びが得られるはずです。

3月9日 Mon
16:00-17:45

会場： NEC芝倶楽部
(港区芝5-21-7)

主催：サステナビリティ日本フォーラム

定員：12名 (先着順)

*ラウンドテーブルの
オンライン参加受付はございません
*チャタムハウスルールの下、
開催します

費用：無料



司会進行：
サステナビリティ日本フォーラム
事務局次長 櫻田 彩子

お申し込み：氏名・ご連絡先をご記入のうえ、下記メールアドレスまでお申し込みください。

info@sustainability-fj.org

お申し込み〆切：2026年3月5日（木）（〆切厳守）